

温泉成分・禁忌症・適応症等揭示表

利用許可
施設名

スーパー銭湯コール宇都宮の湯

1 源泉名	宝来の湯源泉																																																																																															
2 湧出地	栃木県那須郡那珂川町小口字長峯1735番29																																																																																															
3 採取場所	源泉直近のドレイン																																																																																															
4 採取場所における調査及び試験成績	(1)調査・試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 上野一利 (2)調査及び試験年月日 2023年2月20日 (3)泉温 32.0℃【気温 19.0℃(調査時)】 (4)湧出量 270.5 ℓ/min 動力揚湯 (5)知覚的試験 無色澄明、無味、無臭である。 (6)pH値 9.4 (7)電気伝導率 22.5 mS/m(25℃) (8)ラドン(Rn)含有量 未測定 ×10 ⁻¹⁰ Ci/Kg (-- M・E/Kg)																																																																																															
5 試験室における試験成績	(1)試験者 一般社団法人 栃木県薬剤師会検査センター 上野一利 三好献児 (2)分析終了年月日 2023年3月6日 (3)知覚的試験 (採取48時間後)無色澄明、無味、無臭である。 (4)密度 0.9984 g/cm ³ (20℃/4℃) (5)pH値 9.44 (6)蒸発残留物 0.197 g/kg(130℃)																																																																																															
6 試料1kg中の成分 分量及び組成	単位:mg																																																																																															
<table><thead><tr><th colspan="2">陽イオン</th><th colspan="2">陰イオン</th><th colspan="3">遊離成分</th></tr><tr><th>(ミリグラム)</th><th>(ミリバール)</th><th>(ミリグラム)</th><th>(ミリバール)</th><th>(ミリグラム)</th><th>(ミリバール)</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>ナトリウムイオン(Na⁺)</td><td>57.5</td><td>2.50</td><td>ふっ化物イオン(F⁻)</td><td>1.0</td><td>0.05</td><td>非遊離成分</td><td></td><td></td></tr><tr><td>カリウムイオン(K⁺)</td><td>0.6</td><td>0.02</td><td>塩化物イオン(Cl⁻)</td><td>2.5</td><td>0.07</td><td>メタけい酸(H₂SiO₃)</td><td>76.8</td><td>0.98</td></tr><tr><td>カルシウムイオン(Ca²⁺)</td><td>0.2</td><td>0.01</td><td>硫化水素イオン(HS⁻)</td><td>0.2</td><td>0.01</td><td>非遊離成分計</td><td>76.8</td><td>0.98</td></tr><tr><td>アルミニウムイオン(Al³⁺)</td><td>0.0</td><td>0.01</td><td>硫酸イオン(SO₄²⁻)</td><td>11.0</td><td>0.23</td><td>溶存ガス成分</td><td></td><td></td></tr><tr><td>第一鉄イオン(Fe²⁺)</td><td>0.1</td><td>0.00</td><td>炭酸水素イオン(HCO₃⁻)</td><td>64.2</td><td>1.05</td><td>溶存部室(ガス性を除く)</td><td>0.246</td><td>g/kg</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>炭酸イオン(CO₃²⁻)</td><td>31.5</td><td>1.05</td><td>成分総計</td><td>0.246</td><td>g/kg</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>メタほう酸イオン(BO₂⁻)</td><td>0.2</td><td>0.00</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>水酸化物イオン(OH⁻)</td><td>0.4</td><td>0.03</td><td>その他の微量成分</td><td></td><td></td></tr><tr><td>陽イオン計</td><td>58.4</td><td>2.54</td><td>陰イオン計</td><td>111.0</td><td>2.49</td><td>総ひ素(As)</td><td>0.011</td><td></td></tr></tbody></table>		陽イオン		陰イオン		遊離成分			(ミリグラム)	(ミリバール)	(ミリグラム)	(ミリバール)	(ミリグラム)	(ミリバール)		ナトリウムイオン(Na ⁺)	57.5	2.50	ふっ化物イオン(F ⁻)	1.0	0.05	非遊離成分			カリウムイオン(K ⁺)	0.6	0.02	塩化物イオン(Cl ⁻)	2.5	0.07	メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	76.8	0.98	カルシウムイオン(Ca ²⁺)	0.2	0.01	硫化水素イオン(HS ⁻)	0.2	0.01	非遊離成分計	76.8	0.98	アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.01	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	11.0	0.23	溶存ガス成分			第一鉄イオン(Fe ²⁺)	0.1	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	64.2	1.05	溶存部室(ガス性を除く)	0.246	g/kg				炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	31.5	1.05	成分総計	0.246	g/kg				メタほう酸イオン(BO ₂ ⁻)	0.2	0.00							水酸化物イオン(OH ⁻)	0.4	0.03	その他の微量成分			陽イオン計	58.4	2.54	陰イオン計	111.0	2.49	総ひ素(As)	0.011	
陽イオン		陰イオン		遊離成分																																																																																												
(ミリグラム)	(ミリバール)	(ミリグラム)	(ミリバール)	(ミリグラム)	(ミリバール)																																																																																											
ナトリウムイオン(Na ⁺)	57.5	2.50	ふっ化物イオン(F ⁻)	1.0	0.05	非遊離成分																																																																																										
カリウムイオン(K ⁺)	0.6	0.02	塩化物イオン(Cl ⁻)	2.5	0.07	メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	76.8	0.98																																																																																								
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	0.2	0.01	硫化水素イオン(HS ⁻)	0.2	0.01	非遊離成分計	76.8	0.98																																																																																								
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.01	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	11.0	0.23	溶存ガス成分																																																																																										
第一鉄イオン(Fe ²⁺)	0.1	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	64.2	1.05	溶存部室(ガス性を除く)	0.246	g/kg																																																																																								
			炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	31.5	1.05	成分総計	0.246	g/kg																																																																																								
			メタほう酸イオン(BO ₂ ⁻)	0.2	0.00																																																																																											
			水酸化物イオン(OH ⁻)	0.4	0.03	その他の微量成分																																																																																										
陽イオン計	58.4	2.54	陰イオン計	111.0	2.49	総ひ素(As)	0.011																																																																																									
7 泉質	アルカリ性単純温泉(低張性・アルカリ性・低温泉)	発行年月日	2023年3月6日																																																																																													
	分析責任者 藤本亨	分析機関名	一般社団法人 栃木県薬剤師会 様																																																																																													

温泉の一般的禁忌症(浴用)

一般的禁忌症:
病気の活動期(特に熱のあるとき)・活動期の結核・進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合・少し動くと息苦しくなるような重い心臓病又は肺の病気・むくみのあるような重い腎臓の病気・消化管出血・目に見える出血があるとき・慢性の病気の急性増悪期

泉質別禁忌症:なし

備考:禁忌症・適応症は、源泉直近のドレインでの採取、分析結果に基づき判断した。

療養泉の一般的適応症(浴用)

一般的適応症:
筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ・変形性関節症・腰痛症・神経痛・五十肩・打撲・捻挫などの慢性期)・運動麻痺における筋肉のこわばり・冷え性・末梢循環障害・胃腸機能の低下(胃がもたれる・腸にガスがたまるなど)・軽症高血圧・耐糖能異常(糖尿病)・軽い高コレステロール血症・軽い喘息又は肺気腫・痔の痛み・自律神経不安定症・ストレスによる諸症状(睡眠障害・うつ状態など)・病後回復期・疲労回復・健康増進

泉質別適応症:自律神経不安定症・不眠症・うつ状態

注1)温泉の禁忌症・適応症については専門知識を有する医師の意見を参考にすることが望ましい。
注2)本別表は、揭示に必要な参考資料となるものである。
注3)管轄の健康福祉センター(または保健所)より別表が発行されたときはそれに従う。

浴用の方法及び注意

ア.入浴前の注意

(ア)食事直前・直後及び飲酒後の入浴は、避けること。酩酊状態での入浴は、特に避けること。

(イ)過度の疲労時には、身体を休めること。

(ウ)運動後30分程度の間は、身体を休めること。

(エ)高齢者・子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。

(オ)浴槽に入る前に手足から掛け湯をして、温度に慣らすとともに身体を洗い流すこと。

(カ)入浴時、特に起床直後の入浴時などは、脱水症状等にならないようあらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ.入浴方法

(ア)入浴温度:高齢者・高血圧症若しくは心臓病の人、又は脳卒中を経験した人は42℃以上の高温浴は避けること。

(イ)入浴形態:心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。

(ウ)入浴回数:入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしても良いこと。

(エ)入浴時間:入浴温度により異なるが、1回当たり初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよい。

ウ.入浴中の注意

(ア)運動浴を除き、一般的に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。

(イ)浴槽から出るときは、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。

(ウ)めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て横になって回復を待つこと。

エ.入浴後の注意

(ア)身体に付着した温泉成分を洗い流さずタオルで拭き取り、着衣の上保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒が行われている場合には、温泉成分を温水で洗い流したほうが良いこと。)

(イ)脱水症状を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ.湯あたり

温泉療養開始後、おおむね3日~1週間前後に気分不快・不眠、若しくは消化器症状等の湯あたり症状、又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らしこのような状態からの回復を待つこと。

カ.その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルを入れないこと。

『温泉』成分に影響を与える項目の追加揭示

a.加水	加水は、行っておりません。
b.加温	温泉は、「宝来の湯」からタンクローリーで運搬致します。 浴槽に供給する際は、入浴に適した温度を保つ為、ボイラーによる加温を行っております。
c.循環装置	温泉資源の保護と衛生管理を目的にろ過循環装置を使用致します。
d.消毒処理	栃木県公衆浴場法施工条例の基準を満たす為、次亜塩素薬剤による殺菌処理を行っております。